

4. 問い合わせ件数

| | 漁協・水産団体等 | 漁業者・水産加工業者 | 官公庁 | 学校等 | マスコミ等 | 一般企業 | 一般県民 | その他 | 合計 |
|---------|----------|------------|-----|-----|-------|------|------|-----|-----|
| 漁場・環境 | 6 | 1 | 7 | 1 | 7 | | 2 | 2 | 26 |
| 魚・水生生物 | 12 | 3 | 12 | 4 | 27 | 9 | 4 | 1 | 72 |
| 漁業 | 1 | 1 | 5 | | 11 | | 1 | | 19 |
| 利用加工 | 1 | 5 | 13 | 1 | 23 | 24 | 3 | 4 | 74 |
| 栽培・養殖 | | 3 | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 15 |
| 安全・安心 | 2 | 2 | 2 | | | 7 | 1 | 1 | 15 |
| 漁業被害 | | | 3 | | 4 | | | | 7 |
| 珍魚・特異現象 | 8 | 6 | 3 | | 6 | 2 | | 4 | 29 |
| その他 | 1 | | | 2 | 3 | | 3 | | 9 |
| 合計 | 31 | 21 | 50 | 9 | 82 | 43 | 16 | 14 | 266 |

5. 発表業績

(1) 学術誌等での発表

○学術誌での発表

- ・エチゼンクラゲを分離排出する沖合底びき網（2そうびき）漁具の開発：沖野晃・村山達朗・井上喜洋、Nippon Suisan Gakkaishi、75、6-18（2009）

○学会・研究集会等での口頭発表

- ・高津川漁協はなぜ産卵保護を強化したのか？：村山達朗、天然アユを増やすと決めた漁協のシンポジウム、第3回和歌山大会（2008.11）
- ・底魚類の資源回復のための自然変動を活用した漁獲システムの開発：村山達朗・天野千絵・志村健、東京大学海洋研究所共同利用集会、ゾーニング：使い分けや棲み分による漁場、資源管理要旨集、8-11（2008.12）
- ・島根県の水産業とブランド化への取り組み：道根淳、日本海水学会環境・生態系・生物資源研究会2008年度シンポジウム in 島根（2009.3）
- ・島根県多伎地先におけるバイの移植放流による資源造成：道根淳・柳昌之・勢村均、平成21年度日本水産学会春季大会、講演要旨集、141（2009.3）
- ・高津川におけるアユ資源管理目標値の設定：寺門弘悦・三浦常廣・村山達朗・高橋勇夫、平成21年度日本水産学会春季大会、講演要旨集、140（2009.3）
- ・小型ズワイガニ混獲防止を目的とした小型底びき網選択漁具の開発：福井克也・村山達朗・沖野晃・井上喜洋、平成21年度日本水産学会春季大会、講演要旨集、14（2009.3）
- ・釣獲されたメダイの船上処理方法の検討：岡本満・清川智之・藤川裕司・森脇和也、平成20年度水産利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、中央水研、横浜市（2008.11）
- ・島根の水産業の特徴：藤川裕司、シンポジウム「水産物のための次世代コールドチェーン構想をめざして」、日本食品保蔵科学会第57回大会講演要旨集、18-21（2008.6）
- ・釣獲されたサワラの鮮度保持試験：岡本満・齋藤寛之、平成21年度日本水産学会春季大会、講演要旨集、115（2009.3）

- ・釣獲されたサワラの船上処理方法の検討：岡本満・齋藤寛之、第 56 回日本海水産物利用担当者会議 水産物の利用に関する共同研究第 49 集、27-31（2009）

○その他

書評 銀むつクライシス―「カネを生む魚」の乱獲と壊れゆく海―：森脇晋平、水産海洋研究 72（4）340、（2008）

（2）報道実績

| 日付 | 新聞社・報道局等 | 内容 | 担当部署 |
|-------------|-------------------------|---------------------|----------|
| H20. 4. 7 | 朝日新聞 | ワカサギ保護、漁協と連携 | 内水面グループ |
| H20. 4. 15 | 山陰中央新報 | 10年ぶりマイワシ好調 | 海洋資源グループ |
| H20. 4. 16 | 山陰中央新報・中国新聞・BSS 山陰放送 | 「円石藻」が大量発生 | 浅海グループ |
| H20. 5. 13 | 水産経済新聞 | アカアマダイ種苗放流 | 浅海グループ |
| H20. 5. 21 | BSS 山陰放送 | 中海でのサルボウの共同調査 | 浅海グループ |
| H20. 8. 3 | 山陰中央新報 | 海水温急上昇 | 海洋資源グループ |
| H20. 8. 7 | 水産経済新聞 | マアジ加入量水準過去最高 | 海洋資源グループ |
| H20. 8. 8 | 山陰中央新報 | マアジ豊漁の予測 | 海洋資源グループ |
| H20. 8. 18 | みなと新聞 | 島根沖スルメイカ漁好漁予測 | 海洋資源グループ |
| H20. 9. 10 | NHK 松江支局 | 宍道湖で取り組んでいる耕耘調査について | 内水面グループ |
| H20. 10. 7 | 山陰中央新報・NHK 浜田報道室 | 江の川で産卵場改良 | 海洋資源グループ |
| H20. 10. 18 | 中国新聞 | アユ降下への兆候確認 | 海洋資源グループ |
| H20. 10. 19 | 読売新聞 | 高津川アユ晩婚化？ | 海洋資源グループ |
| H20. 10. 26 | 中国新聞 | 高津川アユ濁水でピンチ | 海洋資源グループ |
| H20. 11. 5 | 読売新聞 | 益田・高津川アユ、発電所取水抑制も効果 | 海洋資源グループ |
| H20. 11. 9 | 山陰中央新報 | エチゼンクラゲ漂着情報ゼロ | 海洋資源グループ |
| H20. 11. 15 | 山陰中央新報 | うまいカニ数値で証明 | 利用化学グループ |
| H20. 11. 16 | 朝日新聞 | カニの見入り切らずに見分け | 利用化学グループ |
| H20. 11. 27 | BSS 山陰放送 | カニの身入り測定技術 | 利用化学グループ |
| H20. 12. 3 | 山陰中央新報 | HP で旬の魚介類紹介 | 企画広報スタッフ |
| H20. 12. 9 | 山陰中央新報 | 消えた宍道湖のワカサギ | 内水面グループ |
| H20. 11. 26 | 日本水産経済新聞 | カニの身入り、瞬時に測定 | 利用化学グループ |
| H20. 12. 31 | 日本水産経済新聞 | カニ選び失敗しない！ | 利用化学グループ |
| H20. 1. 5 | 日本水産経済新聞 | ブランド魚販売に貢献 | 利用化学グループ |
| H21. 1. 7 | 山陰中央新報 | 取水制限でアユ増加 | 海洋資源グループ |
| H21. 1. 9 | 山陰中央新報 | 珍魚（リュウグウノツカイ）漂着 | 企画広報スタッフ |
| H21. 2. 3 | 山陰中央新報 | 農産物や魚介類のエキス化装置導入 | 利用化学グループ |
| H21. 2. 14 | 山陰中央新報 | 都会地に地元水産物を | 利用化学グループ |
| H21. 2. 18 | 朝日新聞 | 島根の魚 加工品 PR | 利用化学グループ |
| H21. 2. 25 | みなと新聞 | ズワイガニの身入り、瞬時に測定 | 利用化学グループ |
| H21. 3. 3 | 中国新聞 | 島根のサワラ 岡山で高値 | 利用化学グループ |

(3) その他情報提供一覧（関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開）

| | | 漁業生産部・栽培漁業部 | | | 内水面・中海水 | | 各部共通 | | |
|-----|--|---|--|---|--------------------------------------|---|--------------------------------------|----------------|----------------|
| | | トビウオ通信 | トビウオ通信漁況速報 | 海況情報 | とびっくす | 川っ湖通信 | 水産技術センター ターダより | 事業年報 | 研究報告書 |
| 内容 | 主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとりまとめ | 県内主要漁業（まき網、イカ釣り、沖合底びき網、小型底びき網、定置網、釣り・縄）の漁獲統計・沿岸水温 | 試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報に加え、等温線図、平年偏差図の作成 | 海洋における研究成果や話題性のあるテーマを掲載 | 内水面・中海水 質情報と松江大橋橋脚下における水質・流況情報の提供 | 河川・内水面の研究成果や話題 | 巻頭言、新規研究課題の紹介、研究成果情報、話題、主要事業一覧、職員の配置 | 各研究課題の結果概要 | 事業遂行で得られた研究成果 |
| 4月 | 平成20年度第1回日本海漁況予報 | | ○ | No. 33 (4月) 養殖イワガキ種苗の歩留まり向上を目指して！ | | | 第3号発行 | | |
| 5月 | 平成20年度第1回日本海スルメイカ漁況予報 | | ○ | No. 34 (4月) 海の色が変？—アプト薬プランクトンの発生について— | | | | | |
| 6月 | 平成20年度上半期浮魚中長期漁況予報 | | ○ | No. 35 (4月) 中海のサルボウガイ復活を目指して！ | | | | | |
| 7月 | マアジ新規加入量調査結果速報 平成20年度第2回日本海漁況予報 | | | | | | | | |
| 8月 | 平成19年漁期の底びき網漁業の動向 平成20年度第2回日本海スルメイカ漁況予報 | | ○ | | | | | | |
| 9月 | | 毎月下旬 | ○ | No. 36 (9月) 高品質のサワラを目指して—サワラ鮮度保持試験— | | 内水面・中海水 質調査は月1回行い、ホームページで公開。 大橋川水質情報は内水面・中海水のホームページで1時間ごとに自動更新。 | | | |
| 10月 | 平成20年度第3回日本海漁況予報 平成20年度下半期浮魚中長期漁況予報 | | ○ | No. 37 (11月) カニの身入り測定技術の開発！ | | | | | |
| 11月 | | | ○ | No. 38 (12月) マダイ種苗生産の省力・省コスト化を目指して (第2報) | | | | | |
| 12月 | | | ○ | No. 39 (12月) 平成20年(2008年)の海況トピックス | | | | | |
| 1月 | 平成20年の島根県漁業の動向 | | ○ | No. 40 (12月) アユの産卵前線に異常アリー取水制限による産卵のお手伝い— | | | | | |
| 2月 | 平成20年漁期前半の底びき網漁業の動向 | | | No. 41 (2月) 隠岐西ノ島の浜にイカの大群が押し寄せた | | | | | |
| 3月 | | | ○ | No. 42 (2月) 養殖用のイワガキ種苗が出来るまで！ | | | | 平成19年度版発行 (3月) | 研究報告第2号発行 (3月) |